

漏水箇所では膨張して止水、漏水のない箇所ではそのまま硬化し防水 超柔軟性 PU 注入樹脂

概要

KÖSTER KP2in1 は動きのある躯体の防水用に開発された柔軟な注入用ポリウレタン樹脂で、速効性と持続性を併せ持つ物性があります。水のある箇所では膨張して止水、水のないところではそのまま化学反応により硬化するため、1材で止水と防水ができます。

用途

- 1、止水、防水
- 2、新たなクラック防止

主成分

ポリオール、シクロヘキシルジメチルアミン、メチルジフェニルジイソシアネート

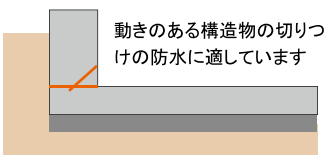


施工に適した基材

コンクリート

施工例

(切りつけ)

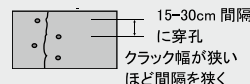


KÖSTER KP2in1 と専用ハンドポンプ

施工手順

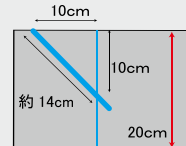
1、穿孔

コンクリートの厚みを調べ、コンクリートの厚みの中心でクラックと交差するように45度の角度でφ10.5mmのドリルで穿孔します。



2、プラグ挿入

注入プラグを挿入し、ナット部をスパナで回すとゴム部が膨らみ固定されます。



コンクリート厚が20cmの場合、長さ20cm程度のドリルビットが必要です。

3、穿孔位置の確認

正しく穿孔されているか確認するには水を注入します。クラックから水が溢れれば正しく穿孔されています。

4、材料の準備

KÖSTER KP2in1 を用意します。本製品は1kgのセット缶に梱包されており、A成分の缶でAB両材の混合ができます。混合比は重量比、容積比とも1:1ですので少量の取り扱い



専用注入プラグ
φ10mm x 85mm

も容易です。十分に攪拌後 KÖSTER ハンドポンプに混合した KÖSTER KP2in1 を充填します。

KÖSTER ハンドポンプは小型ながら100kgf/cm²のハイパワーで容量は500ccです。構造上注入中はポンプは下向きに保ってください。

5、注入

KÖSTER KP2in1 を注入します。注入するクラック近辺はあらかじめ水で濡らしておきます。これによりクラックから溢れ出した樹脂の剥離が容易になります。

最初に水を注入している場合は漏水のない箇所でも若干の泡がクラックからでできます。KÖSTER KP2in1 と水の反応は注入後約50秒で始まり約3分間で終わります。漏水のある箇所では沢山の発泡体が溢れ出てきますが、反応が終わると(止水されると)原液が出てきます。ここで一旦注入を止め次のプラグに移ります。

6、再注入

水との反応で膨張し発泡体となった KÖSTER KP2in1 は次第に収縮します。よって発泡体のまま放置すると2次漏水の恐れがあります。通常は非発泡性の別の注入材を併用し防水しますが、KÖSTER KP2in1 は1材で止水(発泡)及び防水(化学反応による硬化)の2役をこなします。発泡体が溢れ出たすべてのプラグに注入後10-20分経過したら、再度同じポンプで注入をします。この工程により柔軟な防水層が形成されます。発泡後20分以上放置すると発泡体が硬化し再注入しにくくなりますのでご注意ください。



超柔軟性



水のないところではそのまま硬化(左)水と接触すると発泡し止水(右)

カスター・ピーエヌ・ジャパン株式会社

〒245-0053 横浜市戸塚区上矢部町 2916

電話: 045-443-5102 ファックス: 045-443-5145

e-mail: info@koster-japan.com http://www.koster-japan.com

(取り扱い)